

平成23年2月6日(日)に、JR堺市駅前の「サクスエア堺」で昨年に引き続き2回目となる『大和川水環境改善活動発表・研究・交流会2011』『大和川を100万尾の天然アユがのぼる都市河川に～水環境の改善について～』(13:00～16:00)を開催しました。今回の活動発表会は事前申込から反響があり当日も20人が飛び込み参加するなど、参加者約140人という盛況ぶりで有意義な交流会を開催することができました。

イベントの概要

大和川は昭和30年頃までは大阪湾から天然アユが遡上する豊かな川でした。昭和40年代に入り、高度経済成長とともに川の環境が激変し、大和川はワースト1の川として不名誉なタイトルを更新してきました。しかし、流域の下水道整備や人々の意識の高まりと努力で水質は大きく改善され、最近では天然アユの遡上と産卵が確認されるまで回復しています。しかし、天然アユ遡上の兆しは確認されて間がなく、大和川はアユを初めとした生息環境としては多くの課題が残されています。また、多くの天然アユがのぼる都市河川にするには、大和川の天然アユそのものについての理解と回復にむけた方策が必要です。このため、河川環境づくりに取り組んでおられる方々のお話を聞きながら、意見交換会を行い、天然アユの遡上に代表される生物の多様性についての活動・発表・研究会を実施しました。

活動発表・研究・交流会2011

プログラム：

【第一部】話題提供(13:00～13:35)

大和川を100万尾の天然アユがのぼる都市河川に

【第二部】意見交換会(13:40～15:50)

大和川に天然アユ遡上を進めていくための意見交換会

【まとめ】解説(15:50～16:00)

大和川の天然アユに関するノート

主催：大和川河川事務所

共催：大和川水環境協議会(近畿地方整備局・大阪府・奈良県・流域市町村)

大和川天然アユ研究会

協賛：(社)土木学会関西支部、(社)日本水産学会近畿支部

協力：大和川市民ネットワーク



事務所の若手職員による司会に始まり、開会挨拶をする大阪市立大学大学院教授矢持氏。会場は開始とともに満席になりました。



【第一部】話題提供 大和川を100万尾の天然アユがのぼる都市河川に

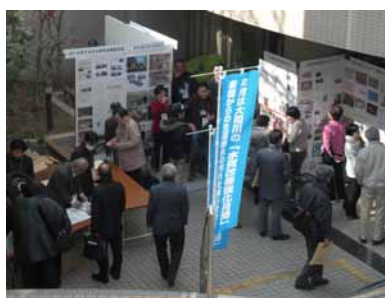


小村氏の講演の様子 大和川の活動にエールを送ってくれました。

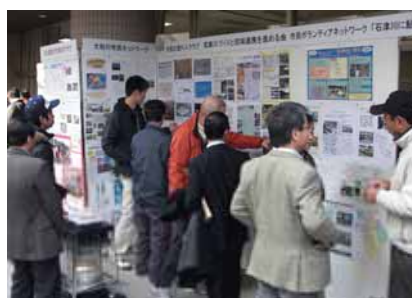
第一部は博物画家で「人を自然に近づける川いい会」の理事である小村一也氏に「アユの博物誌」としてアユの漢字の由来からアユと人々との暮らしの関わり、芸術や図鑑の中のアユやアユの一生を描いた絵本「石になった魚」について話題提供頂き、第二部のアユの一生を考えるにあたっての問題提起を行って頂きました。



【当日の会場のような】



中庭を利用し受付と展示コーナーを設けました



NPOの活動展示を前に熱心に交流する参加者



発表関係者の方々の活動展示パネル

【第二部】意見交換会 大和川に天然アユ遡上を進めていくための意見交換会

第二部の意見交換会では、1年魚であるアユが無事に四季を過ごすために必要な環境づくりに取り組んでおられる方々と天然アユが棲める環境について意見交換しました。

活動発表会の発表者

四季：「天然アユの一生」 大阪府環境農林水産総合研究所水産技術センター 大美 博昭 氏

冬のテーマ：アユの子は大阪湾で育ちます「大阪湾のなぎさ環境」 大阪市立大学大学院教授 矢持 進 氏

春のテーマ：海で成長した稚アユは川へのぼります「河川干潟環境の修復技術（石炭灰造粒物）」

広島大学大学院准教授 日比野 忠史 氏

夏のテーマ：アユはさらに上流へのぼり成長します「手づくり魚道からはじめて」 芥川倶楽部代表 田口 圭介 氏

秋のテーマ：産卵して生涯を終えます「武庫川のアユの産卵場造成について」 兵庫県宝塚土木事務所 前田 優夫 氏

（コメンテーター）大阪教育大学名誉教授 長田 芳和氏

大阪市立大学大学院教授 矢持 進氏

大和川釣り人クラブ 松吉 敬一氏

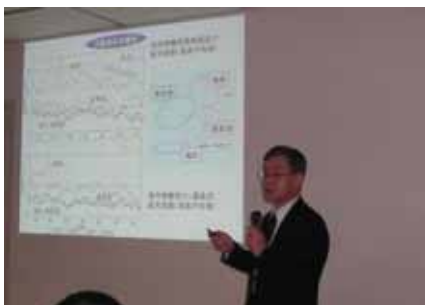
（司会進行）大和川河川事務所長 安原 達



アユの一生 大美氏の発表の様子



冬のテーマ 矢持先生の発表の様子



春のテーマ 日比野先生の発表の様子



夏のテーマ：田口氏の発表の様子



秋のテーマ：前田氏の発表の様子



【まとめ】解説 大和川の天然アユに関するノート

大和川天然アユ研究会の長田先生より、まとめとして天然アユ遡上を進めていくために現状や問題点、目標をまとめた「大和川の天然アユに関するノート」をご紹介します。



発表を受けて、コメンテーターや会場内での意見交換が行われました。



【会場展示】～大和川を100万尾の天然アユがのぼる都市河川に～

大和川 水環境改善活動発表・研究・交流会2011では、15団体の方々の日頃の取り組みや研究成果をご紹介します。

会場展示にご出展いただいた活動団体

芥川倶楽部
ガイアライン
川と遊ぼう大和川クラブ
市民ボランティアネットワーク「石津川に鮎を」
楽しいんやさかい大和川水辺の楽校
日本下水文化研究会関西支部
人を自然に近づける川いっい会
武庫川づくりと流域連携を進める会
大和川市民ネットワーク
大和川釣り人クラブ

大阪市立大学大学院工学研究科
都市系専攻環境水域工学分野
広島大学大学院工学研究院
社会環境空間部門海岸工学研究室
大阪府 環境農林水産部 環境管理室
大阪府環境農林水産総合研究所・水産技術センター
兵庫県宝塚土木事務所
大和川河川事務所

人を自然に近づける川いっい会

大阪府水産総合研究所

広島大学大学院工学研究院

大阪市立大学大学院工学研究科



兵庫県宝塚土木事務所



大和川河川事務所



大和川市民ネットワーク

川と遊ぼう大和川クラブ

楽しいんやさかい
大和川水辺の楽校

芥川倶楽部



大和川釣り人クラブ

市民ボランティアネット
ワーク「石津川に鮎を」

武庫川づくりと流域
連携を進める会

日本下水文化研究会

ガイアライン

大阪府環境管理課

